

# 明治大学付属中野八王子中学校

2010年版

市販の学校案内は、良いことと大まかなことしか書かれていません。  
受験サポート進学教室アシストでは、「生」の情報を大切にしていきたいと  
考えています。

客観的視点も大切ですが、主観的視点も一意見として取り入れるべきです。  
中学二年生のご息をもつ保護者の方にご協力いただきました。  
学校選択そして入学後の目安としてご活用いただければと存じます。

## はじめに

明治大学付属中野八王子中学校は、通称「明八」（メイハチ）と呼ばれています。

実は正直言って、この学校を受験するにあたっての当初の私自身の予備知識としては、この「呼び名」と学校へ行った時に感じた広大な敷地（山の上）や設備などの環境面の印象と、あとは私の友人であるこの学校へ通っていた高校生男子のお母様からの感想だけでした。

「とにかく楽しく6年間を過ごせた」という言葉を信じて、6年生の秋になってから足を運んだ学校でした。

中学受験をする目的や事情など考え方は様々ですが、我が家の場合は、「受験を気にせず伸び伸びとした6年間を送り、自分のやりたいことを精一杯やって将来の目標を探してもらいたい。」  
中学受験において志望校を選ぶ基準もその点でした。  
本人の希望で「共学」ということもありましたが…。

そんな訳で付属校を志望し、ご縁があつて明八に入学することになり、早2年が経とうとしています。

「楽しい」と感想を教えてくれた友人の息子さんは、息子の入学と同時に明治大学理工学部へと進学し、今年の桜が咲く頃には息子も中3になります。

当初息子にとって第1志望の学校ではありませんでしたが、息子はそんなことは全くおかまいなしに「メイハチ」が大のお気に入り。

入学以来「お母さん、僕をメイハチに入れてくれてありがとう！」と、何度お礼を言われたことか…

その度に「お母さんが入れた覚えはないわよ。あなたが選んであなたが受験して入学したのよ」と答えています。

学校のことについては、恥ずかしながら私よりも息子の方が詳しいのが現状で、まだよくわからないこともたくさんありますが、2年間通学している息子に取材しながら、私の感想を含めて分かる範囲でまとめてみました。

## 服装や規則について

### ☆ 制服

男子は詰襟、女子はブレザーです。  
冬用にコートも購入しましたが、息子はほとんど着用していません。真冬でも詰襟にマフラーで通学しています。

「せっかく買ったのに…」と思うのですが、部活の高校生の先輩達がほとんど着用していないというのが理由のようで、クラスの友だちや女子は着用しているのかもしれない。

シャツやズボン、スカート、靴下、靴、カバンなど…全て学校指定です。  
標準の制服の他に選択型のものがいくつかあり選んで着用できます。

入学式や卒業式など式典の際は冬期制服（標準型）着用と決められています。

個人的には、靴とか靴下とか Y シャツなどは指定の色であれば市販のものでも可にしてもらえるとありがたいと思うのですが…

全てが学校名入りの指定のものなので、学校の売店でしか購入できないし価格も高いので…

## ☆ 髪型

パーマや毛染めは禁止で、地毛が茶色かったり癖毛だったりする場合は、入学時に保護者から届出をします。

男子は目と耳と襟に髪がかからないように、女子は肩についたら結ぶのが望ましいとされ、華美な髪留めは禁止です。

基本的に身だしなみには厳しい学校です。服装の乱れは先生方の目に止まるとすぐに注意されるようです。

校門一斉指導があったり、試験中にチェックがあったりしますが、生徒には前もって通知されます。(これは大きい) 息子は慌てて散髪に行くことも…。

私を感じる限りでは、普段も生徒達の服装等に特に乱れた印象もなく、いつもさっぱりしているようです。

## ☆ 携帯電話

学校内では使用できませんが、保護者の届出後に緊急連絡用として登下校中に使用できます。ほぼ全員が使用しているようですし、部活でのグループメールや連絡などを考えると、

携帯電話は先生、保護者、生徒間でかなり活躍(?)しています。

学校内ではロッカーか鞆の中に入れて電源を切るように決められています。

(ちゃんと守られてるのかな?)

## ☆ その他

学校生活に不要なものは持参してはならないことになっています。(マンガやゲームなど) 化粧は禁止。ピアス・ネックレス・指輪等の装飾品は禁止です。

教室に私物を残して下校してはいけないということで、私物を忘れると届け出をしないと返却してもらえません。忘れ物をするとやっかいということです。

ロッカーは、施錠が義務づけられています。

登下校の途中の飲食店・コンビニ・ゲームセンター・カラオケBOX等への立ち寄り禁止。(実際のところは……??!)

## 学校行事について

### ☆ 遠足・旅行

息子の学年は入学してすぐに「オリエンテーション旅行」(新潟) がありましたが、昨年度より夏期の移動教室として変更になったようです。

課外授業(遠足)として、中1の時に都心の方(東京駅集合)へ班行動でコースを巡ったり、中2では横浜方面へも行きました。

毎年、年末に「スキー・スノーボード合宿」(志賀高原3泊4日)があり希望者が参加しています。息子も中1の時に参加し、学校で定められた「スキー検定」の級を取得して来ました。夜遅くまで友だちと話しこんで寝不足でスキーをするのもどうかと思いましたが、本人にはとても楽しい思い出になったようです。

修学旅行は、中学生は中2の最後。3月の期末テストを他の学年より1週間繰り上げて行い、その後答案返却も待たずにすぐに奈良&京都へ行きます。

奈良は全員でバスで名所旧跡を回りますが、京都はほとんど班行動で、行き先も自分達で決めてハイヤーでまわるようです。特産品の工場などで体験学習などにも参加するそうです。

(息子はただ今その修学旅行中。試験そっこのけでずっと楽しみにしていました。

ついこの間受験して入学したばかりなのに、早いなぁと感じます。)

高校生は高2の同時期に沖縄です。

## ☆ 合唱コンクール

年に1度行われていた合唱コンクールは、昨年度より文化祭に組み込まれました。文化祭初日の午前中に学校の講堂で行われ、中1～中3の12クラスがそれぞれの練習の成果を出し合い、講堂内に素敵な歌声を響かせています。

審査には専門の先生を招いてお願いしているそうで、生徒たちもクラス単位で休み時間や放課後に頑張って練習をしていました。

コンクール後には、クラスメイトでお疲れ様の「打ち上げ会」があり、休みの日にお店に集合していました。

## ☆ 体育祭

毎年5月末に実施されます。

広大なグラウンドが、昨年夏に眩しい緑の人工芝にリニューアルしました。

今年の体育祭が楽しみです。

中学は各学年4クラスなので、縦割りにしてA～D組に色分けされて対抗します。

個人競技よりも団体競技が多いようです。

縦割りでチームを組むことによって先輩、後輩の交流も深められ団結力が生まれるようです。

学年内での優勝クラスも決めるのですが、去年は息子のクラスは学年優勝することができて、体育祭終了後に「優勝祝賀会」があり、一度帰宅してから再びお店に集合して、担任の先生を囲んでクラスメイトみんなで祝杯をあげていました。

## ☆ 公開授業（オープンスクール）

授業の参観ができるのですが、実際には受験生の親子の見学がほとんどのようです。学校説明会なども同日に開催されるようで、在校生の授業参観というよりは、やはり外部向けという感じでしょうか…。（私だけ?!）

## 勉強面について

### ☆ 宿題

入学手続き後の登校日に春休みの宿題が配布されました。

算数(計算・文章題)、国語(課題図書の読書感想文)、英語(アルファベット)だったと思います。

入学後初めてのGWは、各教科の宿題が多くて驚いた記憶があります。

(これではとても旅行に行けない…と思いましたので)

英語、数学はプリントでしたが、社会や理科は机上のプリントではなく、模造紙を使ったり、写真を撮り歩いたり作業課題で、少し大変だったような気がします。

中1は気を引き締めて…ということなのでしょうが…

中2ではGWはそれほど宿題は多くなかったように思います。

夏期休暇の宿題は、ほぼ全教科ありますが、やはり中1の時の方が大変だったと思います。英語や数学は問題集1～2冊とテストプリントなど、理科や社会は作業課題や自由研究なども。理科は企業の実施するコンテストに参加したりもします。(息子も2年続けて参加しました。)

息子のように、休暇中も朝から晩まで部活がほぼ毎日あって、大会や練習でほとんど休みがないという子どもたちは、宿題をするのも大変です。去年は、部活の合間に勉強時間をとってもらい毎日学校で少しずつこなしていました。

息子の部活は、高校生も一緒に練習するので、先輩にわからないところを教えてもらったりもしていたようです。

普段の授業の宿題はあまり出ている様子はなく、毎週の漢字、英語、数学の小テストにあわせての勉強がほとんどのようです。  
定期テストの時に演習問題集などの提出があるくらいです。

#### ☆ 小テスト

毎週、決まった曜日に漢字、英語、数学の小テストが朝の H.R の時間に実施されます。結果を教室内の掲示板に貼り出しています。  
(成績順ではなく、出席番号順の名前の横に得点が書き込まれたもの)  
また、成績優秀者は「英語通信」というお便りに名前が掲載されます。  
各科目とも、平常点として加点・減点の対象になります。  
合格点に達しない場合は、追試が行われる場合もあります。

#### ☆ 定期テスト

二期制なので、前期・後期に中間・期末の試験があり、年4回です。  
英語は教科書の英語の他に外国人講師の英会話の授業があり、スピーキングやリスニングのテストも評価に入ります。  
また、普段リーディングテストもあり、平常点になります。

各教科ごとに成績優秀者は、「学年通信」に名前が掲載されます。

#### ☆ 外部の学力テスト

中1の時は P S A T という外部テスト(5教科)が年に3回あり、全国偏差値や校内順位、各科目の領域別の達成度や学習アドバイスなどが記載されたものが成績表となって通知されます。  
中2からは、この他に年2回ベネッセの外部テストも加わりました。  
こちらも同様の成績表が通知されます。

#### ☆ 検定試験

英語検定、漢字検定、数学検定については、学校で受験ができ、生徒はかなり積極的に受験しているようです。  
特に英語検定は、ほぼ全員が受検させられます。中2～中3で3級合格をめざし、合格者は更に上級を受験しています。  
他にニュース時事検定もあります。

高校では「TOEIC」、簿記検定、法学検定にもチャレンジできます。

#### ☆ 進路コンパス

テストではありませんが、外部業者のアドバイスシートです。  
生徒にアンケートを実施して、どんなことに興味・関心があるかとか、生活の様子などから卒業後の進路の希望や将来やってみたい仕事、職業分野への適性、進学先の学科への適性などをまとめてシートに表されて通知されます。

息子は、第一希望を「教育・福祉」としたらしく、シートの結果に「適性はとても高い」と出て大喜びでした。

得意・不得意な科目を本人が答える程度ですから、信憑性はあまり…。しかし、中学生の頃から将来に目を向け、自分の関心分野や職業、そのために必要な学科などについて考えるよい機会になると思いました。

また、結果のシートを見ながら家族で子どもの今の様子や将来のことについて話し合うよいきっかけにもなりました。

## ☆ 成績評価

10段階法の絶対評価です。

年に4回ある定期評価は、定期試験の得点×0.8+平常点(0~20点)を10段階に換算したもので、100~90は10、89~80は9…9~0は1となります。毎テストごとに「成績連絡簿」が配られ、学年末には「学年総合評価」として4回の定期評価の平均が出ます。

この「学年末評価」で1教科でも「3以下」をとってしまうと…大変なことに…!

## ☆ 高校推薦

中高一貫の附属校だから高校へは気楽に上がれるとのんびり考えていましたが…

学力・成績の不振などにより推薦されない場合もあります。

生徒によって、面接が実施される場合もあるようです。

## ☆ 大学推薦

80%以上が明治大学へ進学するようですが、他の大学を受験する生徒もいます。国公立大学へは明治大学の推薦権を残したまま受験が可能です。

高校から推薦へ向けての学力テストなどが実施され、定期テストの結果とともに大学推薦の評価の対象となるようです。

## ☆ 講座・研修

中・高校生ともに普段も夏期休暇中なども、各教科の様々な講座を受講できます。

試験の成績によっては、指名講習(補習)を受けさせられることもあります。

ただし、普段は平日の放課後、休暇中は指定の日なので、部活に忙しい生徒はほとんど受講できませんが…。(もちろん指名講習は優先で欠席はできません)

高校では、高1の夏に2週間のオーストラリア短期海外語学研修(希望者)があります。代ゼミの土曜日講習や他大学進学希望者用にセンター対策の講座なども受講できます。また英検やTOEIC対策の講座、簿記検定やドイツ語講座もあります。

高3では、明治大学の公開授業に参加するようです。

## その他の学校生活について

### ☆ HRと朝読書

スクールバスで到着後、8:45~9:05は朝読書&HRの時間です。

毎朝自分で用意した本を必ず読んでいるようで、息子も時々本を自分で選別に書店へ足を運びます。本の指定は特になく好きな本を読んでいます。

HRは、曜日によって小テストが実施される時間でもあります。

## ☆ 部活

クラブ活動は全体的にとっても活発です。  
特に運動部は休みの日がないほど日々練習や試合が行われている部もあります。  
息子から聞いた感じでは、中学生はほとんどの生徒が部活に参加しているようです。

高校生になると少し「帰宅部」が増えるのか、学校全体では70%ぐらいが部活に参加しているということでした。

校内に合宿所もあり、息子も中2になってから、試合前に高校生と一緒に合宿に参加しました。通常は定期テストの一週間前になると部活は休止するのですが、年間を通して大会が多く、試験前でも試合に参加したり、特別活動として練習があることも…

高校生になると試合の数も増え、ますます忙しくなります。  
昨年も、中学生でも先輩の応援でインターハイの試合応援で神戸まで行った部員もいます。  
私も、他県まで息子と一緒に応援に行ったことがあります。

都大会、関東大会、全国大会とより上を目指してみんな頑張っているのですが、その他の試合遠征なども多く、他府県へ行くことも増えそうです。  
(子どもはいいのですが、保護者の応援は少し大変に思っている今日この頃です…)

## ☆ お弁当

入学してからGWまでは、毎日お弁当を持参するように言われました。  
その後、中1生も学食の利用を許可されてお弁当と学食の食事を併用するようになりましたが、温かい作りたての食事を好む息子は、だんだんお弁当を持参しなくなり、  
(荷物が重いということも理由にしています)  
今では、食堂が閉まっていない限り毎日学食で昼食をとっています。

食べる場所は様々で、部活の仲間や親しい友だちと一緒に教室でお弁当を食べたり、食堂にお弁当を持ち込むこともできますし、天気の良い日には外のテラスで食べたりもしています。

部活の朝練があるので、練習後にお腹が空いて食堂でパンやおにぎりを買って授業前に食べることもあるようです。

母親としては早朝のお弁当作りが無くなって楽に思う反面、ちょっぴり淋しいくらいです。

## ☆ クラス替え

学年が変わるごとに毎年行われます。  
昨年は学年末にある学級PTA(保護者会)の際に、次年度のクラス分けが発表になりました。

## ☆ 先生方

学校内にはいろいろな先生がいらっしゃいます。  
授業の内容も先生によっては全く教科書を使用しなかったり、だいぶ違いがあるようです。

「中学生のうちのはのんびりでいいよ」と、あまりうるさく言わない先生、  
「今のうちからきちんとしては」と、細かいことまで指導して下さる先生。  
生徒との相性もあるとは思いますが、廊下で会った時に「先生～英語教えてよ」と友だちと一緒に声をかけたら、試験前に土曜日の午後に数人で勉強会をして下さった、などということもありました。

忘れ物や、提出物、成績や普段の生活について（全く問題がなければよいのですが）、メールや電話で本人の様子を時々連絡して下さる先生もいらっしゃいます。

クラスや学年でのPTAの懇親会などに先生方も出席されることが多いです。

#### ☆ パソコン

今やパソコンやメールは、保護者にも生徒にも必需品という感じです。学校から保護者に配布された手紙や資料は、全て学校ホームページによって確認できるようになっており、生徒や保護者はパスワードを設定して見ることができます。

先生との欠席連絡やその他の連絡もWEBを使って行います。部活の様々な連絡も先生、生徒、保護者はグループメールを利用しています。

また、宿題（国語の作文や感想文）をパソコンで作成し、USBに保存して持参したり、メールで送ったりしています。企業のホームページを見てコンテストに参加することもありました。

現在、息子は修学旅行の最中ですが、その現地での様子が旅行初日から写真が深夜にホームページにUPされて、保護者はパスワードを入れて見ることができます。私も早速見てみましたが、新幹線での様子から奈良の法隆寺や東大寺での見学の様子、宿についてからの写真が多数ありました。みんなとても楽しそうないい笑顔でした。

#### ☆ 交友関係

本人は受験当初から共学希望でした。明八は男女共学で男女の割合も半々です。息子は、今の環境をととても気に入っているようです。一般的には、中学生くらいですと女子の方が強かったりすると聞きますが、実際はどうなのでしょう…ご多聞にもれずといったところなのでしょうね。

部活の練習が休みになることはほとんどありませんが、たまに休みになったり半日あいたりすると、友だちと映画を見に行ったり遊びに行ったりしています。

1学年が4クラスですが、中2になる時にクラス替えもありましたし、息子は部活の仲間以外にもクラスの内外に友だちがいるようで、とにかく交友関係は盛んな様子です。

友人と遊ぶ時もそうですが、部活でも大会や練習試合にあちこちへ出かけて行きます。基本的に現地集合が多いので、目的地へは自分でパソコンで交通機関や時刻を調べて行っています。

私立で電車通学とはいえ、私が中学生の頃よりも明らかに行動範囲が広いと感じています。

メールや電話もよく使用していますが、携帯の使い方には少し注意を要します。アダルト系のサイトに繋げない仕様にしたり、有料ゲームやゲーム中のマネーを購入できないようにする等…保護者としてはいろいろ苦勞しています。

6年間の間には、時にはハメをはずすこともあるかもしれませんが、中1から高3まで一緒に過ごす年月の中で、男女を問わず一生の友人を得ることが出来るとよいと思っています。



## 終わりに

今回、親子ともども大変お世話になった塾の先生のお役に立てれば…という気持ちから、このような学校情報を書かせていただきましたが、2年間息子が通学しているわりにはまだまだ学校のことを知らない自分に気がつきました。

息子や友だちの保護者に聞いたり、学校の資料を調べてみたり…にわか知識で、あやふやだったり間違っていることもあるかもしれません。(その時はまた訂正させていただきます。)

しかし、こうしてまとめてみると、学校の制度やめざすところを改めて知ることでなり私自身とても勉強になりました。

今まであまりよく知らないでいた息子の学校のことを少し知ることができたようです。付属校だからのんびり…とばかり思っていたのですが、通う子どものタイプによっては様々な学校生活を送ることが可能なのだということもわかりました。

息子のようにひたすら部活中心の毎日を送ることもあれば、(勉強はそっちのけ気味ですが…)大学受験へ向けて勉強に燃えることもできます。

それぞれが「なりたい自分」に近づきつつ努力をできる…そんな学校であることを遅まきながら知りました。

子どもが勉強する時もそうですが、自分と関わる全てのことは自分自身が本気で「解かりたい」と思わなければ知らずにすんでしまい、なかなか理解できないものなのでしょう。

中学受験から2年経ってみて思うのは、受験は決して「ゴール」ではなく、あくまでも「通過点」であり、新しい学生生活の「スタート」であるということです。

子どもがこの先どんな学校生活を送り、どんな道を歩いていくのかを大切に思うのであれば、「志望校選び」は、受験当時に私が考えていたよりもはるかに重要なことでありました。

頭の中に何となく浮かぶ学校のイメージや偏差値、試験の日程等について目がいきがちですが、志望校を選ぶ際には「何のために受験するのか」を意識して「どんな中学・高校生活を送りたいのか」その先の進路をどのように考えているか…なども含めて、いろいろな学校の情報を知った上で、本人が通った場合のイメージを膨らませて決定できるとよいと思います。

これから中学受験を迎える方々にとりまして、志望校を考える際の少しでもお役に立てれば幸いです。

2010年2月